

2005年サンクスギビング特別集会 標 語

わたしたちはキリストの来臨のために、
終わりの日に、いやすキリストをもって
きよめられ、再構成される必要があります。

もしわたしたちが代価を払って、その靈に
わたしたちの全存在に浸透していただくなら、
わたしたちは目を覚ましている者であり、
主の来臨のために用意を整えている者です。

わたしたちは来たるべき王国時代において、
主の喜びに入るために、この時代において
わたしたちの魂の命を失うことによって、
代価を払う必要があります。

神によって用いられて時代を転機させる人はみな、
ナジル人にならなければなりません。
彼らは自発的に献身した人であり、
絶対的に、また徹底的に神へと聖別されています。

2005年11月24日—11月27日

サンクスギビング特別集会のメッセージアウトライン

主題：主の来臨

メッセージ 1

主の来臨の予言

(1)

キリストの来臨のために、終わりの日に、いやすキリストをもって再構成される

聖書：マタイ16:18. ダニエル2:28. マラキ3:1-3, 10. 4:2

- I. キリストの来臨のために、建造されてキリストの花嫁となるには、わたしたちは人類の歴史の中の神聖な歴史のビジョンを見る必要があります。それはわたしたちに「終わりの日に起こる事」を見せます——ダニエル2:28. マタイ16:18. 創2:22. 参照、11:4:
- A. ダニエル第2章において、人の歴史は大きな人の像で象徴されています。この像の四つの部分はそれぞれ、バビロン帝国、メド・ペルシャ帝国、ギリシャ帝国、ローマ帝国に相当します。これらの帝国の軍隊はいなごのようであり、やって来て、イスラエルを完全に壊滅させ、消滅させます——34-35節. ヨエル1:4. 参照、2:25。
- B. 召会時代(外側の人類の歴史の中にある神聖な奥義の内在的な歴史の時代)の間に、キリストは召会を建造して、彼の花嫁とならせつつあります。そして彼は、勝利を得た彼の花嫁と共に戻ってきて、打つ石となり、人の統治の総合計を打ち砕き、神が全地を支配する時代をもたらします——創2:22. マタイ16:18. ダニエル2:34-35, 44-45. 啓17:14. 19:19. 11:15-17。
- II. わたしたちは、キリストの来臨と時代の終結とのしるしを見なければなりません——マタイ24:3, 14-15. ルカ21:28-36:
- A. 主が予言したことは、現在の時代の終結の時に、反キリストがイスラエルの国と七年間の契約を結ぶ前に、イスラエルの国が復興されるということです——マタイ21:19. 24:32-35. ダニエル9:27。
- B. 三年半続く大患難の始まりの時に、反キリストはイスラエルとの契約を破り、そして彼の偶像が神の宮の中に立てられます。これは、主が再来する前に、宮が再建されなければならないことを示しています——27節. IIテサロニケ2:3-4。
- C. 大患難の前に、王国の福音が人の住む全地に宣べ伝えられ、勝利者が携え上げられます。そして、信者たちの大多数、すなわち、まだ円熟していない者たちは、地上に残され、大患難を経過します——啓12:5-6. 14:1, 4. マタイ24:14-15, 40-41。
- D. 不法の奥義が今日、諸国民と人類社会の中で働いています。この不法は、不法の者、すなわち、反キリストにおいて頂点に達します——IIテサロニケ2:3-10:

1. 反キリストは、サタンの力、サタンの具体化となります。反キリストは、神の民、すなわち、神を畏れるユダヤ人とキリストを信じるクリスチャンとを迫害し、滅ぼします——ダニエル8:24. 啓12:17. 13:7。
2. 反キリストは、いと高き方の聖徒たちを疲れ切らせませす——ダニエル7:25. IIテモテ3:1. 参照、マルコ6:45-52。
3. サタンと反キリストは、人の魂を終わりの時代における彼らの活動のための手段とすることを欲します——啓18:11-13. IIテモテ3:5. 参照、ゼカリヤ12:1。

III. マラキ書が啓示していることは、わたしたちがキリストの再来のために、いやすキリストをもってきよめられ、再構成される必要があるということです——3:1-3. 4:2:

- A. マラキは、ネヘミヤの時に預言しました。その時、祭司と神の民のレムナントは、自己欺まん(すなわち、妄想)の暗やみの中にいました——1:6-7. Iヨハネ1:8. 使徒9:1-2. ヨハネ16:2. 参照、ピリピ3:3:
1. 妄想にとりつかれている人の症状は、彼の考えたり行なったりする事が完全に間違っているのに、自分は完全に正しいと考えたり信じたりすることです。
 2. マラキがわたしたちに見せているのは、サタンの暗やみの権威の下にある、自己欺まんの神の民の墮落した状況です——1:2, 6-7. 2:13, 17. 3:7-8, 13-15. 参照、コロサイ1:12-13. 使徒26:18。
 3. 妄想、自己欺まんの原因は、光よりも暗やみを愛すること(ヨハネ3:19-20)、高ぶり(オバデヤ3節)、真理の愛を受け入れないこと(IIテサロニケ2:10-11. 参照、箴23:23)、唯一の神からの栄光を求めないことです(ヨハネ5:44)。
 4. 妄想、自己欺まんから救われる道は、光の中に生きることです——イザヤ50:10-11. 詩36:9. Iヨハネ1:5, 7, 9. コロサイ1:12-13。
- B. いやすキリストは、神の使者、また神の生けるメッセージであり、精錬する者の火、布さらしの灰汁(あく)として、神の民の墮落したレムナントをきよめ、精錬します——マラキ3:1-3. 啓1:20. 2:1. アモス3:7. 参照、ルカ2:26. ヘブル11:7。
- C. いやすキリストは、契約の御使いです——マラキ3:1。
- D. いやすキリストは、すべての諸国民の願いです——1節. ハガイ2:7。
- E. いやすキリストは、義の太陽です——マラキ4:2. 3:1-3:
1. キリストの第一の来臨において、キリストは暗やみの時代の夜明けの太陽です。キリストの第二の来臨において、キリストは彼の王国の中の義の太陽として戻ってきます——ルカ1:78. マラキ4:2. 参照、マタイ17:1-8。
 2. キリストは義の太陽として、わたしたちの享受であり、暗やみを払い去り、わたしたちを命において成長させます。また不義を消し去り、わたしたちに命の中のいやしを得させます——ヨハネ1:4-5. 8:12. IIコリント4:6. 使徒26:18。
 3. いやされることは、救われることであり、完全にされることです。キリストはわたしたちをいやしますが、わたしたちは彼に自由を与え、彼がご自身の翼を用いて、わたしたちの上を飛び、わたしたちの周りを飛び、わたしたちを貫いて飛び、わたしたちの中を飛んでいただくようにしなければなりません——マラキ4:2. 箴

4:18 :

- a. わたしたちは、わたしたちに対する神の大なる愛を見て、自分自身を神の愛の中に保たなければなりません——マラキ**1:1-2**. エペソ**1:4-5**. II コリント**5:14**. ユダ**19-21**節. II テサロニケ**3:5**.
 - b. わたしたちは自分の霊に注意を払い、自分の霊を活用しなければならず、その霊を悲しませたり、消したりしてはいけません——マラキ**2:15-16**. エペソ**4:30**. I テサロニケ**5:19**. ローマ**8:6**.
 - c. わたしたちは神を尊び、畏れ、十分の一をことごとく宝物倉に携えてこなければなりません。それは、召会の必要を顧みるため、福音の前進のため、主のしもべを供給するため、必要のある聖徒たちを供給するためです——マラキ**3:7-12**. 申**14:22-23**. ピリピ**1:5**. **4:15-16**. III ヨハネ**5-8**節. ローマ**12:13** :
 - 1) 十分の一に関する言葉は旧約のイスラエル人に対して語られましたが、原則においてそれは新約の信者たちにも適用されます——マラキ**3:10**. 参照、ヘブル**7:1-3**. マタイ**23:23**.
 - 2) もしわたしたちが金銭と財物を顧慮することにおいて、忠信に神の行政のために生きるのであれば、回復には経済的欠乏はないでしょう——ネヘミヤ**13:10-14**. ルカ**6:38**. 使徒**20:35**. マタイ**6:1-4**.
4. 太陽としてのキリストで再構成された勝利者たちは、彼らの父の王国で太陽のように輝きます——**13:43**. 士**5:31**.